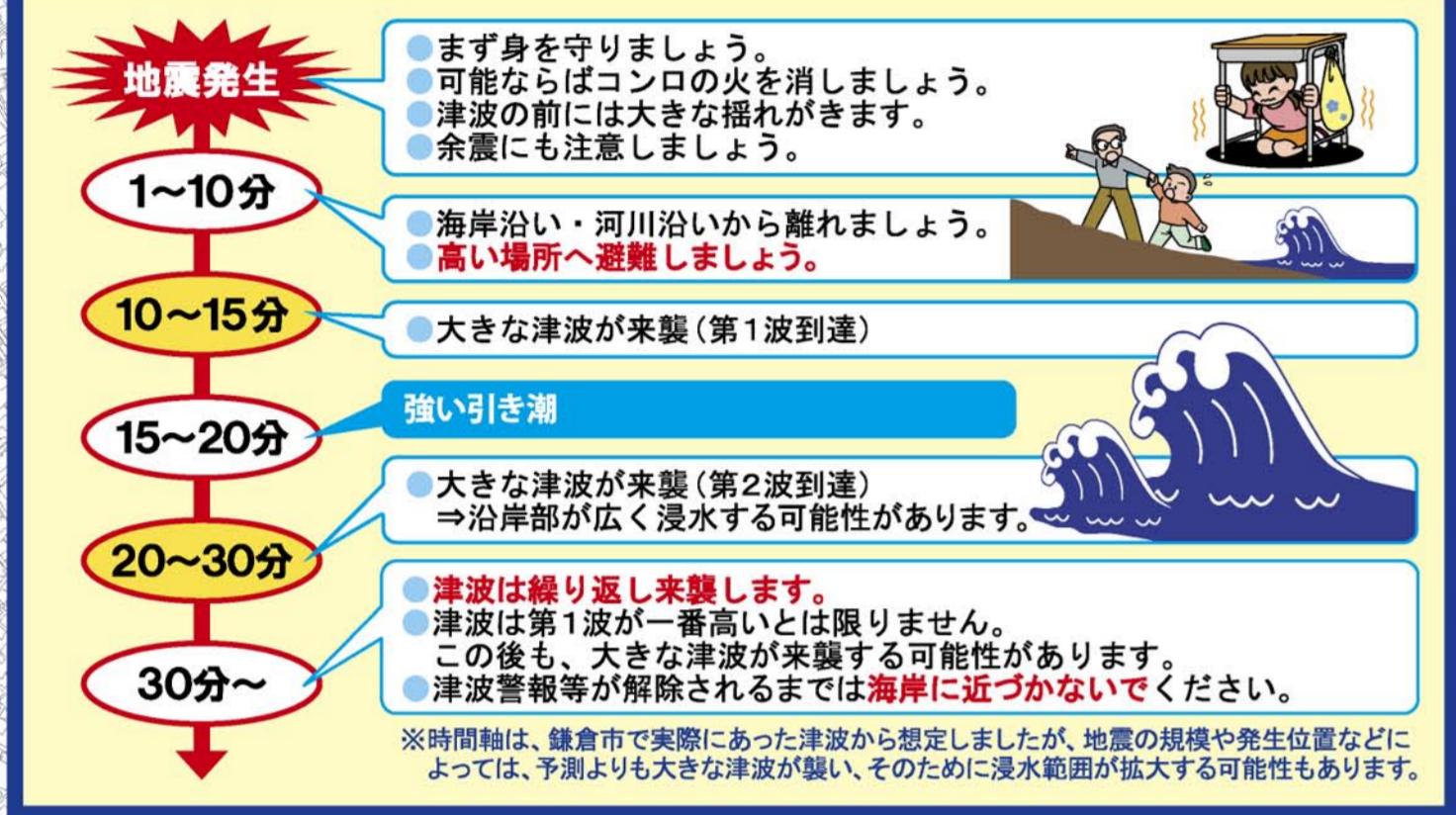


南海トラフ巨大地震と県想定南関東地震による想定浸水範囲

- 南海トラフを震源とする巨大地震の想定浸水範囲
中央防災会議「南海トラフの巨大地震モデル検討会(第二次報告)」(平成24年8月29日発表)のうち、鎌倉市への影響が最も大きくなるケースを採用
- 県想定南関東地震の想定浸水範囲
神奈川県による新たな浸水予測図(平成24年3月公表)による

県想定南関東地震による津波がくるまで ケース



※時間軸は、鎌倉市で実際にあった津波から想定しましたが、地震の規模や発生位置によっては、予測よりも大きな津波が襲い、そのために浸水範囲が拡大する可能性もある

津波の想定

本ハザードマップでは、神奈川県による新たな浸水予測図（平成24年3月公表）をもとにした「県想定明応型地震」「県想定慶長型地震」「県想定南関東地震」、及び、国（中央防災会議）が想定した「南海トラフ巨大地震」の4ケースを想定しています。

発生頻度はきわめて低いものの、
発生すれば甚大な被害をもたらす最大クラスの津波

ケース1 県想定明応型地震（マグニチュード8.4相当）

神奈川県の津波浸水想定のうち、鎌倉市内の浸水範囲が最大となるケースです。明応年間（1492-1501）に発生したとされる地震をもとに、県が想定したものです。

- 予測される浸水範囲と浸水深：本ハザードマップに表示
- " 第1波の到達時間：50～60分程度
- " 市内の最大津波高：12.9m

ケース2 県想定慶長型地震（マグニチュード8.5相当）

神奈川県の津波浸水想定のうち、鎌倉市内の津波高が最大となるケースです。慶長9年（1605）頃に発生したとされる地震をもとに、県が想定したものです。

- 予測される第1波の到達時間：40分程度
- " 市内の最大津波高：14.5m

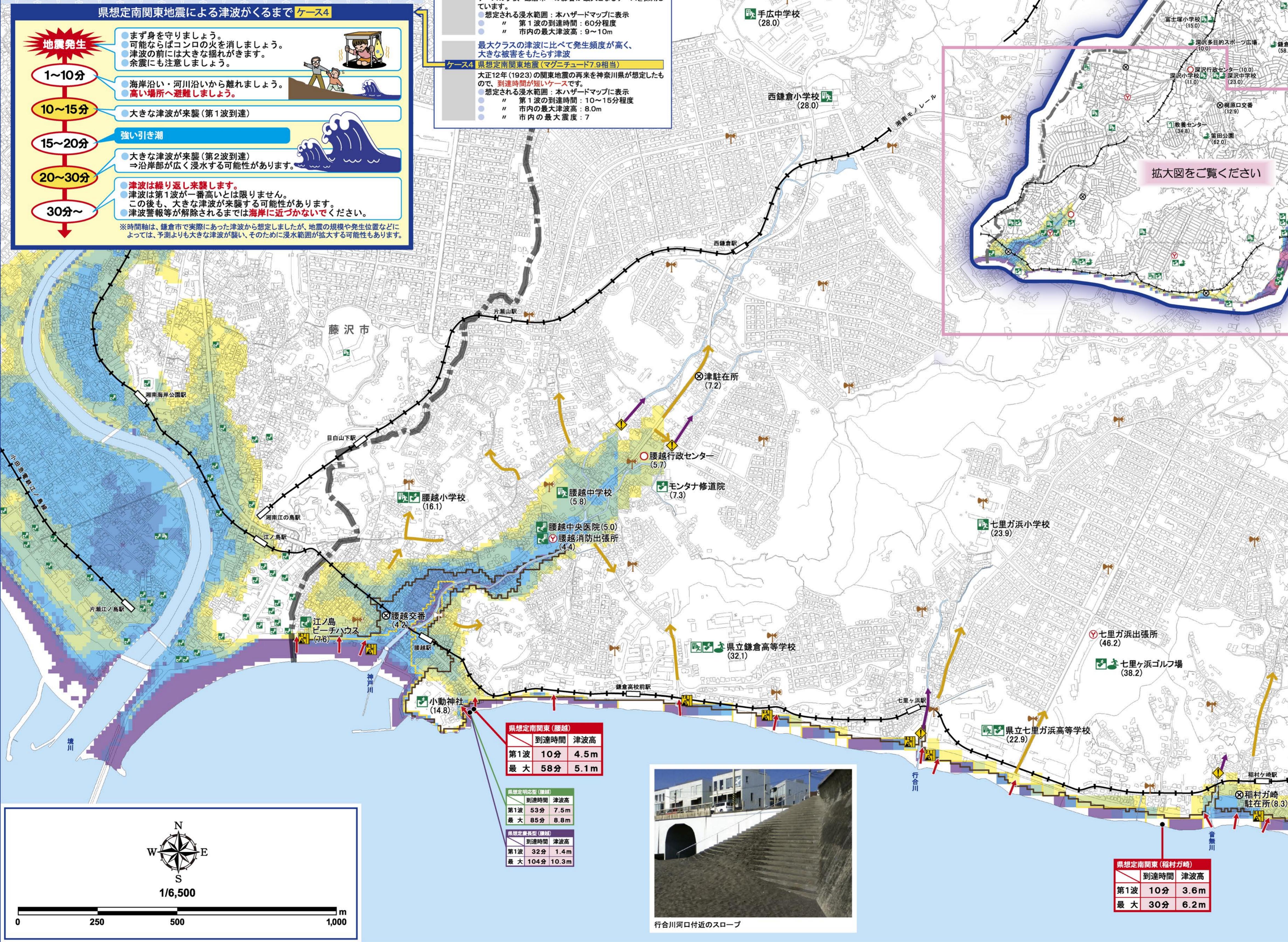
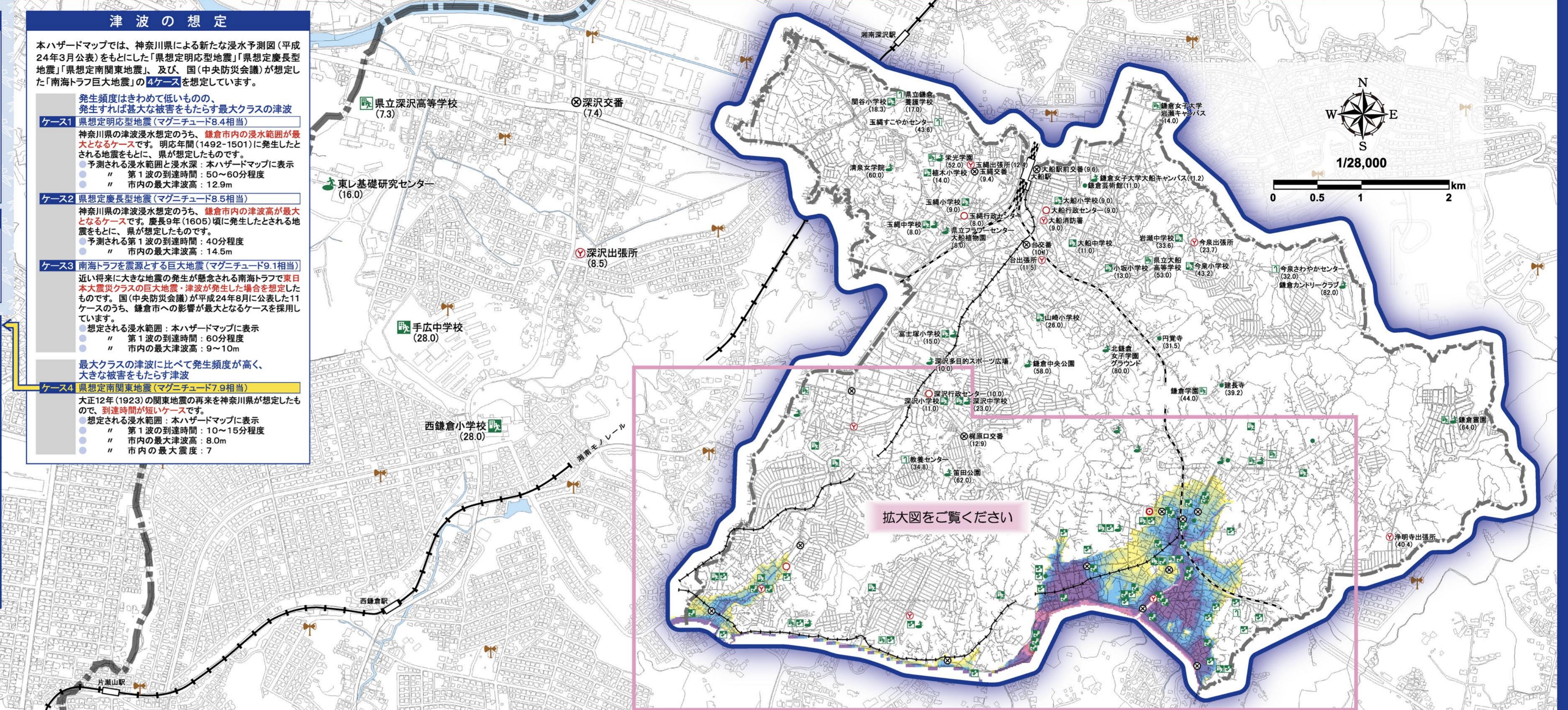
ケース3 南海トラフを震源とする巨大地震（マグニチュード9.1相当）

近い将来に大きな地震の発生が懸念される南海トラフで東日本大震災クラスの巨大地震・津波が発生した場合を想定したものです。国（中央防災会議）が平成24年8月に公表した11ケースのうち、鎌倉市への影響が最大となるケースを採用しています。

- 想定される浸水範囲：本ハザードマップに表示
- " 第1波の到達時間：60分程度
- " 市内の最大津波高：9～10m

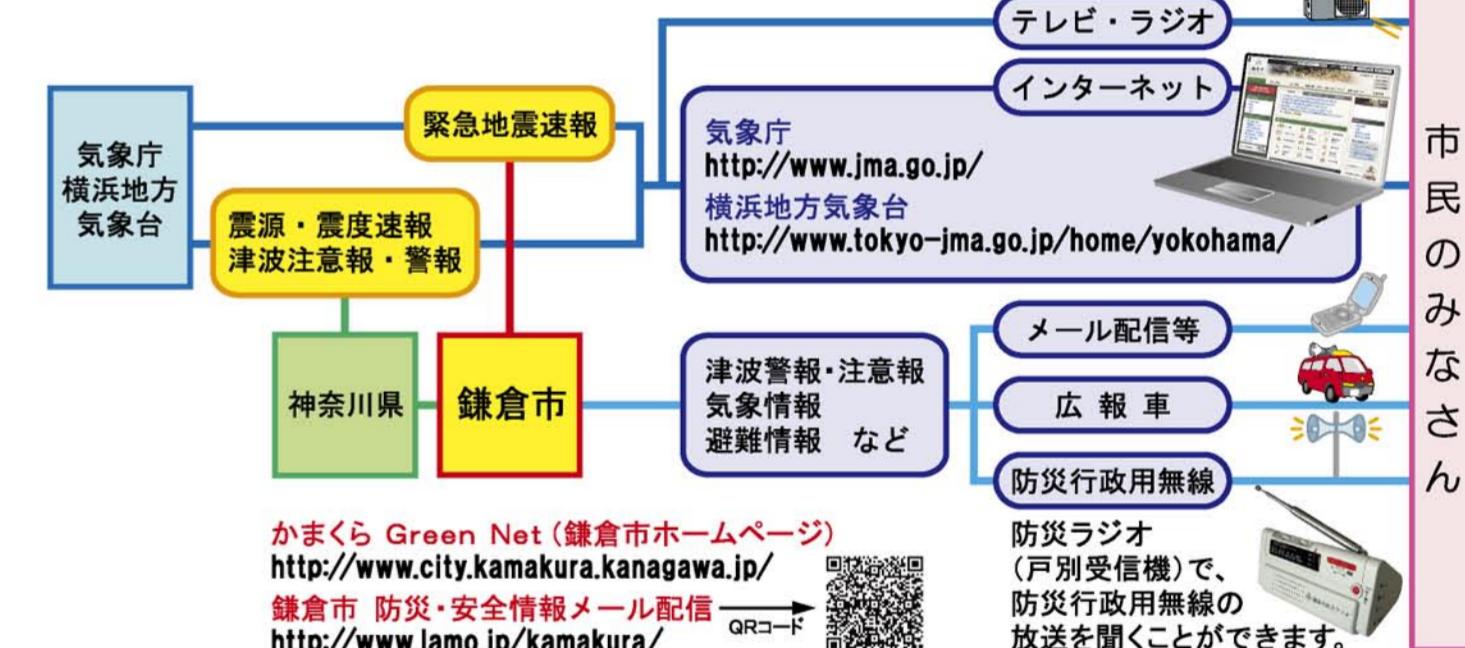
最大クラスの津波に比べて発生頻度が高く、
大きな被害をもたらす津波

ケース4 県想定南関東地震（マグニチュード7.9相当）



防災情報の伝達経路

防災情報は各機関から下のような経路で伝達されます。
市民のみなさんは、各機関から配信される情報を活用し、**早めの避難を心がけましょう。**



津波警報等の発表基準と津波の高さの予想区分

気象庁は、予想される津波の高さに応じて、津波警報・津波注意報を発表します。
津波警報等が発表された場合、市では防災行政用無線のサイレンと放送で注意を呼びかけます。

区分	発表される津波の高さ		想定される津波リスク・とるべき行動	サイレンの鳴り方
	大きさの表現	想定到達高		
警報	大津波警報	巨大	10m超 (10m~)	<ul style="list-style-type: none"> ● 巨大な津波が襲い壊滅的な被害が生じる ● 木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる ● ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難
			10m (5~10m)	<ul style="list-style-type: none"> ● 巨大な津波が襲い甚大な被害が生じる ● 木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる ● ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難
			5m (3~5m)	<ul style="list-style-type: none"> ● 津波が襲い甚大な被害が生じる ● 木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる ● ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難
	津波警報	高い	3m (1~3m)	<ul style="list-style-type: none"> ● 海抜の低いところでは津波が襲い被害が生じる ● 浸水被害が発生し、人は津波による流れに巻き込まれる ● ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難
注意報	津波注意報	(表記しない)	1m (0.2~1m)	<ul style="list-style-type: none"> ● 海中や海岸付近では津波による被害が生じる ● 海中にいると速い流れに巻き込まれる ● 定置網の流失や小型船舶等の転覆などが生じる ● ただちに海岸から離れること